



今後の学力の定着に向けて

校長 加藤 憲司

今年も本当に暑い夏でした。まだ残暑が厳しい中ではありますが、来週から学校に子供たちの元気な声に戻ってきます。夏休みには、自分の興味のあることや、新しいことに挑戦するなど、日頃できないことを経験した子もいたのではないのでしょうか。また、子供たちのために、ラジオ体操や、盆踊りなど様々な催しを行っていただきました、地域の皆様はこの場を借りて、感謝申し上げます。

日中は、まだまだ厳しい暑さが続いていますので、熱中症等にも十分に注意をしながら、教育活動を進めてまいります。引き続き、保護者や地域の皆様には学校の教育活動への御理解と御協力をお願いします。

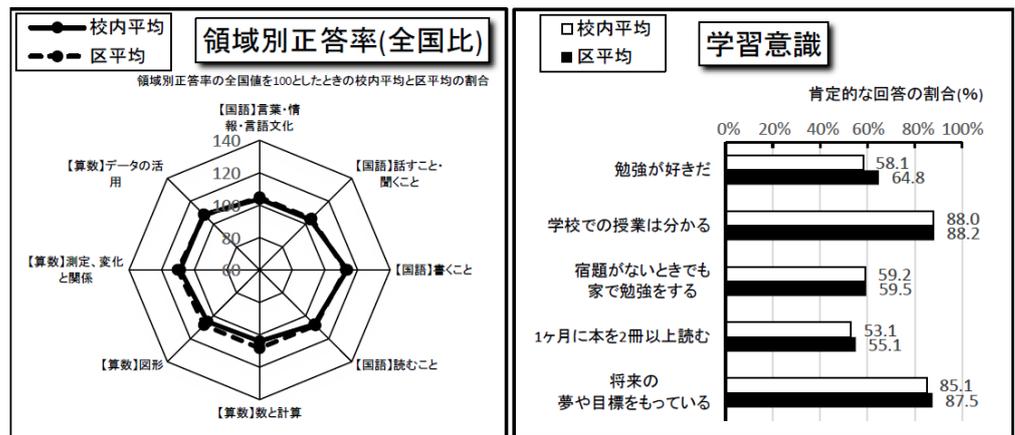
「足立区学力定着に関する総合調査」の本校の結果と今後の対策

4月11日に、2年生から6年生を対象に実施した「足立区学力定着に関する総合調査」の本校の結果と今後の対策がまとまりましたので、お知らせします。

まず、国語と算数の領域別正答率は、概ね、区平均と同等ですが、**算数の「数と計算」と「図形」**が区平均を若干下回っていました。

児童の学習意識のアンケートからは、「学校での授業は分かる」の設問において、肯定的な回答の割合が昨年度の84.7%

から**88.0%**と上昇した一方で、「勉強が好きだ」の設問において、肯定的な回答が**58.1%**と区平均を下回っていました。授業が分かることが、勉強が好きであることに結びついていない課題があります。



<各学年における国語、算数の通過率> ※ 通過率とは、目標となる値以上の正答があった児童の割合です

	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数										
通過率(今年度)	87.4	82.4	89.3	96.0	84.0	78.7	84.0	80.2	87.4	83.2	91.6	75.8
通過率(昨年度)	81.7	78.9	74.1	81.5	75.0	81.0	84.7	81.3	87.5	77.1	85.1	74.5

学校全体の通過率は、**昨年度に比べて改善(青色下線)**しており、より多くの児童が学力を身に付けています。通過率が昨年度を下回った教科や学年を分析したところ、3・4年生の算数では、「基礎」は定着が見られるものの「**応用**」の問題に課題が見られました。また、出題形式別では国語、算数ともに「**選択式**」「**短答式**」に比べ、「**記述式**」の問題に課題が見られました。この傾向はどの学年でも同様の課題です。

上記の課題解決のため、どの教科においても学習のまとめや自分の考えを文章等で表現する時間を確実に設定することで、書くことへの抵抗感を軽減させると共に、自己の意見を表現する力を育成していきます。

また、**全ての教師が「教える専門家」から「学びの専門家」として児童をファシリテートする力を身に付ける**など授業改善を図ることにより、児童が主体的に学ぶ授業を実現し、学ぶ楽しさを高めていきます。